

子どもから大人まで 笑顔あふれる 居場所づくり



地域に暮らす誰もが

一緒に時間を過ごせる「こども食堂」。

食事をするのはもちろん、

お話したり、遊んだり…

「こども食堂」を通して

いろいろな“つながり”が生まれています。

問 こども未来課 ☎ 083-934-2756

こども食堂ってどんなところ？

こども食堂とは、子どもが一人でも安心して、安価または無料で利用できる食堂のことです。

現在、本市には32カ所あり、子ども向けの食事の提供はもちろん、多様な学びや体験、地域の見守り機能を果たし、誰もが利用できる「多世代交流の場」としても親しまれています。

「私の居場所」をつくりたい
私たちは、子どもをはじめとした、地域みんなの居場所づくりに取り組んでいます。「子どもに對しては、ご飯を食べたり、お話をしたり、勉強をしたりす

沙羅の木では、「コミュニティはうすみらい」において、子どもの第三の居場所を運営し、その活動の一環として、子どもたちのための「IBS食堂」やご近所さんとのつながりを生み出す「みらい地域食堂」等を小郡地域に展開しています。

支援のおかげで実現できる
食堂を運営する中で、食材調達の難しさに直面す

る場」「親に對しては、子どもとご飯を一緒に食べたり、子育ての悩みを相談したりする場」をつくることで、地域コミュニティの輪を少しでも広げていきたいです。これまで食堂に來られた地域の方から「ここは私の居場所よ」という言葉をいただいたときはとても嬉しかったです。誰もが気兼ねなく立ち寄れる環境づくりに力を入れています。



コミュニティはうすみらい
小郡新町6丁目4-12
☎ 083-963-9107
活動日：毎月第4日曜

社会福祉法人 防府海北園
母子生活支援施設

沙羅の木
加藤 美和子 さん

自分なりのスタイルで
私たちが運営する食堂には、食事を楽しむ方だけではなく、「地域コミュニティに参加したい」と思われる方にも来ていただきたいと考えています。壁のない開放的な空間なので、気負いせず、お喋りに行こうかな、相談にのってもらおうかなといった「自分なりのスタイル」で立ち寄っていただければと感じています。そうやって、子どもも大人もいろいろな人と関わるうちに、自分の住むまちを好きになっ

ることもあります。何人もの地域の方々に食事を提供するには、運営費だけでは間に合わないため、企業へ食材支援のお願いにも行っています。最近は、生活用品や食器、制服など、暮らしを支える品も寄付いただけるようになり、非常に助かっています。このような支援のおかげで食堂は成り立っていますし、応援してくださる方の存在が私たちの励みになっています。

みらい地域食堂 利用者の声



「みらい地域食堂」では、食事はもちろん、一緒に調理したり、シャボン玉で遊んだり、いろいろな経験ができるので、子どももとても楽しんでいます。利用者が増えて、子ども同士、保護者同士の輪が広がればと感じています。



子どもしか利用できないと思っている人が多いため、もっと利用者の幅が広がればと感じています。子どもたちと「みらい地域食堂」で知り合うことで、外で出会ったときに挨拶を交わせるなど、関係構築のきっかけになるのが嬉しいです。

山口市こども食堂ネットワークを発足！

市内のこども食堂が共同して、子どもたちにとって居心地の良い地域の居場所を充実・普及させるために、こども食堂間の交流や連携を促進する「山口市こども食堂ネットワーク」が、昨年12月に発足されました。

具体的な活動内容は…

連携促進



行政や商工業者（スポンサー）、食材の生産者等との連携体制の構築や支援体制づくり

寄付等の受入促進



個人や企業等からの寄付の受け皿となり、市内のこども食堂へ効率的に配分

普及啓発



小・中学校等へのニューズレターの配布やイベントの開催による周知活動

交流・研修



こども食堂間の交流や研修会（衛生管理やボランティア対応等）の実施、こども食堂の新規開設・運営のサポート

本市も、「山口市こども食堂ネットワーク」が取り組む、交流会・研修会・イベント等の開催支援や、市の広報番組等を活用した情報発信を行うことで、こども食堂を広めたり、市民の皆さんや企業等からの寄付の拡大を図ったりと、こども食堂の安定した運営や新規開設につなげていきます。



◀ 市政番組「このまちに愛たい」で、こども食堂についてご紹介しました。

message

地域みんなで支え合う

家庭によってさまざまな事情があると思いますが、そうした家庭を地域で見守ることで、子どもたちが安心して、将来に希望を持って成長できるよう、子どもたちを支える活動に取り組んでいます。

なかでも「こども食堂」は、一緒にご飯を食べたり、大学生に勉強を教えてもらったりと、子どもたちにとって多様な体験や交流ができ、親にとっても安心してゆっくりできる場です。また、元気な子どもたちの様子が大人の方が元氣をもらえ、今では地域の活性化にも一役買っています。

このような、地域のインフラともなりうる市内の「こども食堂」同士を結びつける、「山口市こども食堂ネットワーク」が昨年発足しました。こども食堂それぞれが抱える悩みを共有して解決策を見つけていく、助け合いの環境が生まれています。こども食堂をより安定的に運営できるよう、これから事務局が主となって、市と連携しながら尽力していきます。



山口市こども食堂
ネットワーク事務局
こだまよりゆき
児玉 頼幸 さん